

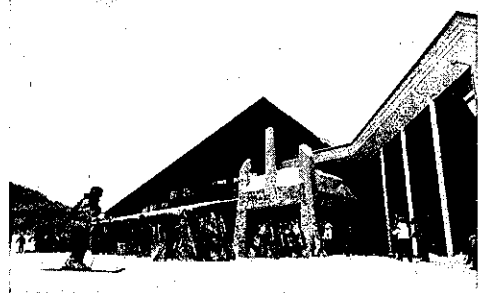
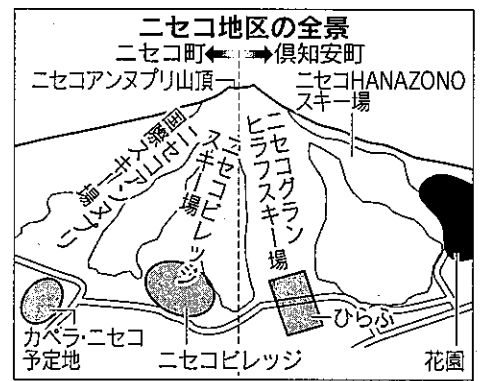
4/11/15

ニセコ花園地区に米ホテル大手、ハイアット・ホテルズ・アンド・リゾーツの高級ブランド「パーク・ハイアット」が2019年に開業することが決まった。ニセコではここ数年、アジアを中心に訪日客が急増。東日本大震災などの影響で止まっていた開発の再開を促した。今後控える北海道新幹線の開業や高速道路の開通が、開発をさらに後押しする可能性もある。

「パーク・ハイアット・ニセコHANAZONO」は、香港の不動産開発会社パシフィック・センチュリー・プレミアム・デベロップメント（PCPD）が保有するニセコHANAZONOリゾート（倶知安町）内に開

## ハイアット、19年ニセコに 訪日客増で開発再開

北海道



ニセコHANAZONOリゾートにはレストランしかなかった（倶知安町）

### 宿泊施設不足 外資の計画続々

約3万平方メートルの区画内にホテル（約100室）とコンドミニアム（約100戸）を建て、ハイアットが運営を担う。17年春には着工したい考え。投資額は、50〜100億が、直後に東日本大震災が発生。「計画そのものが宙に浮いた」（日本法人の東福寺なおみ代表）。

円程度とみられる。PCPDは07年に同リゾートを持つオーストラリア資本を買収。09年に「土地を転売するのではないか」との噂も広がった。秋にはコンドミニアムのモデルハウスも建てた。世界的ブランドの進出はニセコ地区の知名度が高まった証しだ。片山好むコンドミニアムが多健也ニセコ町長と歓迎すが、「アジア系はさーする。西江榮二倶知安町長は「札幌冬季五輪のスキー競技誘致にも大きな後押し」と話す。

開発再開の最大の要因は訪日客の大幅増。14年度に倶知安とニセコの両町を訪れた外国人宿泊客（宿泊延べ数）は13年度比15%増の約44万人。震災直後の11年度の2・4倍の水準だ。スキーシーズンには宿泊施設が不足気味で、課題だった冬以外の閑散期も「着実に宿泊客が増えている」（東福寺氏）。

香港やマレーシアなどアジア系が増えるなど、資本のニセコビレッジなど、他の外資による宿泊施設の整備にも拍車がかかりそう。

札幌 011-281-3221  
函館 011-3322-4111  
旭川 011-221-3322  
釧路 011-223-1710  
011-710-6000